

## 平成22年度高千穂町国民健康保険病院改革プラン実施状況について

### 概況

平成22年度の業務体制は、内科3名、外科3名、整形外科2名、小児科1名、眼科1名の10名及び非常勤により循環器科週2日、耳鼻咽喉科週1日、皮膚科週3日、泌尿器科週2日の診療体制で行っている。

- (ア) 病院の利用状況の22年度見込みについては、入院患者数(延)36,297人で、21年度の(延)38,718人に比べて2,421人の減となり、外来患者数においては見込みが(延)98,874人で、21年度の101,612人に比べて、2,738人の減となっている。
- (イ) 医業収益については、22年度見込みが1,829百万円で22年度計画の1,901百万円に比べて72百万円の減となっている。
- (ウ) 医業外収益については、見込みが100百万円で計画の61百万円に比べて39百万円の増となっている。
- (エ) 医業費用については、見込みが1,912百万円で計画の1,864百万円に比べて48百万円の増となっている。
- (オ) 医業外費用については、見込みが102百万円で計画の96百万円に比べて6百万円の増となっている。
- (カ) 純利益は見込みが△86百万円で計画の1百万円に比べて87百万円の減となっている。
- (キ) 資本的収入については、見込みが24百万円で計画の13百万円に比べて11百万円の増となっている。
- (ク) 資本的支出については、見込みが277百万円で計画の269百万円に比べて8百万円の増となっている。
- (ケ) 一般会計からの繰入金については、見込みが136百万円で計画の100百万円に比べて36百万円の増となっている。

- (コ) 経常収支比率については、見込みが 96%で計画の 100%に比べて 4%の減である。
- (サ) 不良債務比率については、見込みが△85%で計画の△90%に比べて 5%の増である。
- (シ) 医業収支比率については、見込みが 96%で計画の 102%に比べて 6%の減である。
- (ス) 職員給与費対医業収益比率については、見込みが 60%で計画の 48%に比べて 12%の増である。
- (セ) 材料費対医業収益比率については、見込みが 18%で計画と同額である。
- (ソ) 病床利用率については、見込みが 83%で計画の 82%に比べて 1%の増である。

高千穂町国民健康保険病院会計収支計画(平成22年度末実施状況)

(単位:百万円、%)

1. 収益的収支

区分	年度	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度		増減	割合(%)	21年度		増減	割合(%)	22年度		増減	割合(%)	23年度 (計画)
	(計画)			(実績)	(計画)			(実績)	(計画)			(実績)	(計画)			
収入	1. 医業収益 a	1,966	1,928	1,897	1,917	20	1	1,908	1,949	41	2	1,901	1,829	-72	-4	1,891
	(1) 料 金 収 入	1,900	1,868	1,837	1,852	15	1	1,827	1,859	32	2	1,820	1,750	-70	-4	1,811
	(2) そ の 他	66	60	60	65	5	8	81	90	9	11	81	79	-2	-2	80
	うち他会計負担金	20	15	17	17	0	0	39	39	0	0	39	36	-3	-8	39
	2. 医業外収益	63	72	68	72	4	6	61	65	4	7	61	100	39	64	61
	(1) 他会計負担金・補助金	55	60	58	58	0	0	51	51	0	0	51	90	39	76	51
	(2) 国(県)補助金	0	0	0	0	0	0	0	1	1	-	0	0	0	0	0
	(3) そ の 他	8	12	10	14	4	40	10	13	3	30	10	10	0	0	10
	経常収益(A)	2,029	2,000	1,965	1,989	24	1	1,969	2,014	45	2	1,962	1,929	-33	-2	1,952
	支出	1. 医業費用 b	1,885	1,827	1,854	1,855	1	0	1,861	1,850	-11	-1	1,864	1,912	48	3
(1) 職 員 給 与 費 c		863	836	897	901	4	0	901	1,038	137	15	910	1,099	189	21	923
(2) 材 料 費 d		427	375	355	362	7	2	350	343	-7	-2	340	334	-6	-2	335
(3) 経 費		474	490	470	461	-9	-2	466	324	-142	-30	449	320	-129	-29	440
(4) 減 価 償 却 費		114	119	124	125	1	1	137	136	-1	-1	159	150	-9	-6	153
(5) そ の 他		7	7	8	6	-2	-25	7	9	2	29	6	9	3	50	5
2. 医業外費用		116	111	108	109	1	1	103	105	2	2	96	102	6	6	93
(1) 支 払 利 息		73	69	66	66	0	0	63	63	0	0	61	60	-1	-2	58
(2) そ の 他		43	42	42	43	1	2	40	42	2	5	35	42	7	20	35
経常費用(B)		2,001	1,938	1,962	1,964	2	0	1,964	1,955	-9	-0	1,960	2,014	54	3	1,949
経常損益(A)-(B)(C)	28	62	3	25	22	733	5	59	54	1,080	2	-85	-87	-4,350	3	
特別損益	1. 特 別 利 益 (D)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2. 特 別 損 失 (E)	0	0	2	1	-1	-50	1	1	0	0	1	1	0	0	1
	特別損益(D)-(E)(F)	0	0	-2	-1	1	-50	-1	-1	0	0	-1	-1	0	0	-1
純 損 益 (C)+(F)	28	62	1	24	23	2,300	4	58	54	1,350	1	-86	-87	-8,700	2	
累 積 欠 損 金 (G)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
不良債	流 動 資 産 (ア)	2,130	2,049	1,852	1,951	99	5	1,715	1,972	257	15	1,811	1,644	-167	-9	1,807
	流 動 負 債 (イ)	100	130	107	130	23	21	103	182	79	77	109	84	-25	-23	109
	うち一時借入金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
債務	翌年度繰越財源(ウ)	0	0	0	0	0	0	0	15	15	-	0	0	0	0	0
	当年度同意等債で未借入 又は未発行の額(エ)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	差引不良債務(オ) [(イ)-(エ)]-(ア)-(ウ)	-2,030	-1,919	-1,745	-1,821	-76	4	-1,612	-1,775	-163	10	-1,702	-1,560	142	-8	-1,698
単年度資金不足額(※)	63	111	174	98	-76	-44	133	46	-87	-65	-90	215	305	-339	4	
経常収支比率 $\frac{(A)}{(B)} \times 100$	101	103	100	101	1	1	100	103	3	3	100	96	-4	-4	100	
不良債務比率 $\frac{(オ)}{(ア)} \times 100$	-103	-100	-92	-95	-3	3	-85	-91	-6	7	-90	-85	5	-6	-90	
医業収支比率 $\frac{a}{b} \times 100$	104	106	102	103	1	1	103	105	2	2	102	96	-6	-6	102	
職員給与費対医業収益比率 $\frac{c}{a} \times 100$	44	43	47	47	-0	-1	47	53	6	13	48	60	12	25	49	
材料費対医業収益比率 $\frac{d}{a} \times 100$	22	20	19	19	0	1	18	18	0	0	18	18	0	2	18	
地方財政法施行令第19条第1項 により算定した資金の不足額(H)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
地方財政法上の資金不足の割合 $\frac{(H)}{(ア)} \times 100$	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
地方公共団体の財政の健全化に関する法律上の資金不足比率	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
病 床 利 用 率	90	90	84	88	5	5	83	88	5	7	82	83	1	1	80	

## 2. 資本的収支

(単位:百万円、%)

区分	年度	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度		増減	割合(%)	21年度		増減	割合(%)	22年度		増減	割合(%)	23年度 (計画)
				(計画)	(実績)			(計画)	(実績)			(計画)	(見込)			
収	1. 企業債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2. 他会計出資金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	3. 他会計負担金	5	5	5	5	0	0	10	28	18	180	10	10	0	0	10
	4. 他会計借入金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5. 他会計補助金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	6. 国(県)補助金	3	19	7	7	0	0	3	3	0	0	3	14	11	367	3
	7. その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
収入計 (a)	8	24	12	12	0	0	13	31	18	138	13	24	11	85	13	
入	うち翌年度へ繰り越される 支出の財源充当額 (b)	0	0	0	0	0	0	0	15	15	-	0	0	0	0	0
	前年度許可債で当年度借入分 (c)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	純計(a)-(b)+(c) (A)	8	24	12	12	0	0	13	16	3	23	13	24	11	85	13
支	1. 建設改良費	95	196	174	146	-28	-16	195	138	-57	-29	140	148	8	6	140
	2. 企業債償還金	127	130	124	123	-1	-1	126	126	0	0	129	129	0	0	132
	3. 他会計長期借入金返還金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	4. その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
支出計 (B)	222	326	298	269	-29	-10	321	264	-57	-18	269	277	8	3	272	
差引不足額 (B)-(A) (C)	214	302	286	257	-29	-10	308	248	-60	-19	256	253	-3	-1	259	
補 て ん 財 源	1. 損益勘定留保資金	214	185	238	210	-28	-12	308	233	-75	-24	256	253	-3	-1	259
	2. 利益剰余金処分額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	3. 繰越工事資金	0	0	0	0	0	0	0	15	15	0	0	0	0	0	0
	4. その他	0	117	48	47	-1	-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計 (D)	214	302	286	257	-29	-10	308	248	-60	-19	256	253	-3	-1	259	
補てん財源不足額 (C)-(D) (E)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
当年度同意等債で未借入 又は未発行の額 (F)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
実質財源不足額 (E)-(F)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

## 3. 一般会計等からの繰入金の見通し

(単位:千円)

	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度		増減	割合(%)	21年度		増減	割合(%)	22年度		増減	割合(%)	23年度 (計画)
			(計画)	(実績)			(計画)	(見込)			(計画)	(見込)			
収益的収支	( 0 ) 75,000	( 0 ) 75,000	( 0 ) 75,000	( 0 ) 75,000	0	0	( 0 ) 90,000	( 0 ) 90,000	0	0	( 0 ) 90,000	( 0 ) 125,856	35,856	40	( 0 ) 90,000
資本的収支	( 0 ) 5,000	( 0 ) 5,000	( 0 ) 5,000	( 0 ) 5,000	0	0	( 0 ) 10,000	( 0 ) 28,200	18,200	182	( 0 ) 10,000	( 0 ) 10,000	0	0	( 0 ) 10,000
合計	( 0 ) 80,000	( 0 ) 80,000	( 0 ) 80,000	( 0 ) 80,000	0	0	( 0 ) 100,000	( 0 ) 118,200	18,200	18	( 0 ) 100,000	( 0 ) 135,856	35,856	36	( 0 ) 100,000

(注)

- ( )内はうち基準外繰入金額。
- 「基準外繰入金」とは、「地方公営企業繰入金について」(総務省自治財政局長通知)に基づき他会計から公営企業会計へ繰り入れられる繰入金以外の繰入金をいうものであること。
- 23年度以降については収支の状況に応じて繰入金額を協議するものであること。